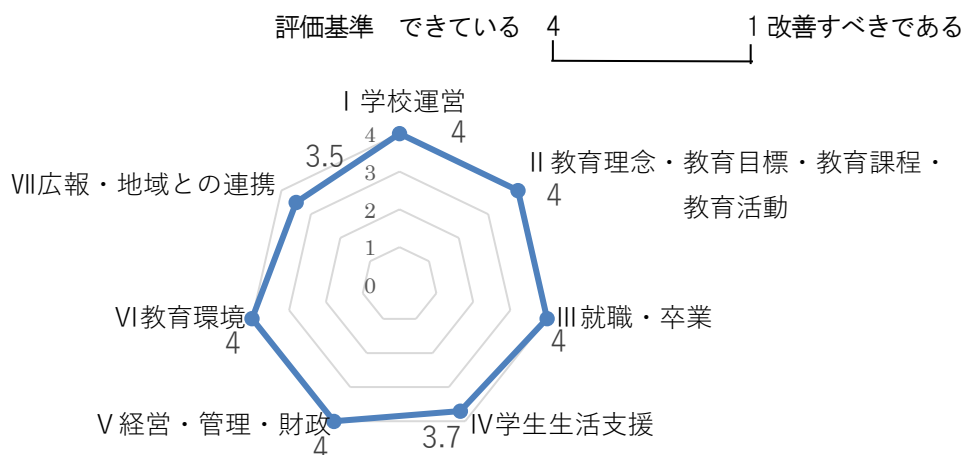


目的

学校経営・管理及び教育活動、研究活動等に対する自己点検・自己評価を継続的・循環的に行い、改善点を見出し、教育活動の質向上を目指すとともに、地域のニーズに応える魅力ある学校となるよう努める。本校では、定期的に教育活動および学校運営の評価を行う。

自己点検・自己評価（7領域32項目）の結果



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	4.0	組織目標を策定し、年2回の評価を行いながら全職員で目標達成に向けて活動している。課題等に関しては随時検討し、問題解決に取り組んでいる。学校だけでなく、岡山県済生会の施設間・職員間で連携しチーム力を発揮した取り組みを行っている。
II 教育理念・目標・教育課程・教育活動	4.0	教育活動の評価を行い、その結果を次年度の目標や計画に反映している。今年度も新型コロナウイルス感染症の防止対策を行い、状況に合わせ最善の授業方法や学習環境になるよう柔軟に対応した。特に、臨地実習では、実習施設の協力を得て、安全に実習が行える学習環境を整えた。
III 卒業・就職	4.0	令和4年度も看護師国家試験に全員合格することができた。進路の支援については、各学年に応じたセミナーを計画・実施した。また、卒業後のホームカミング日は年に1回を予定していたが、卒業生の希望により2回行った。卒業生が看護師として仕事を継続するための支援になるようニーズに合わせて対応していきたい。参加者を増やすことが課題である。
IV 学生生活支援	3.7	教員が少数の学生を担当し、学生個々にあわせた支援を継続している。新型コロナウイルス感染症の影響による経済的に困難な学生等に対する支援が受けられるよう随時情報提供して対応した。
V 経営・管理・財政	4.0	年間計画に基づき計画的に予算・事業執行を行っている。学生の意見や要望を反映し、可能な範囲で改善や説明を行い、学生が理解しより満足できるよう努めている。
VI 教育環境	4.0	令和4年度から電子テキストやグループウェアの導入により教育活動の幅が広がりつつある。昨年度、感染予防を考慮し十分できなかった授業研究は、少人数で行い成果を上げた。また、学会・研修はオンラインなどを有効に活用して参加し、今後の教育活動に活かすことが期待できる。
VII 広報・地域との連携	3.5	母体病院と連携し地域活動等の参加を行っているが、コロナ禍で活動が中止となり実施できなかったことが多かった。次年度から県立高校生の授業参加を予定しており、看護を学びたい高校生の支援に協力する準備を行っている。また、地域の看護協会や大学等へ講師を派遣し協力している。 令和4年度の県内の就職率は86.6%であった。今後も地域のニーズにあわせた活動をし、帰属意識が定着できるよう働きかけたい。